

中学校再編に関わる保護者意見交換会の概要

【篠島地区】

日 時 令和6年8月27日（火） 午後7時00分～午後8時10分
場 所 篠島開発総合センター 集会室
参加者 21名

主な意見等

○新南知多中学校建設について（資料1）

質疑なし

○中学校再編に関する意見交換（資料2～資料6）

質問：災害時の対応について、資料の3で詳しく説明してくれましたが、スクールバスについて、「運行会社（運転手）の指示に従う。」ということですが、運行会社との連携の状態と、子どもたちが場所を全部把握しているかということと、実際にどれくらいバスに乗っての訓練がされているのか。

回答：訓練までしているかは把握しておりません。

「避難先、避難行動について、生徒が把握しているか。」ということについて、当然この文書については、保護者に渡すだけではなく、子どもたちが分かっていないと意味がありませんので、教員の方から指導したり、個人で確認させたりしています。

ただ、学校全体で時間を取って、下校時に訓練を行うということはしておりませんが、必要であるという認識は、学校の方も持っております。

質問：去年1年間の、不登校生徒数を聞かせてください。

回答：昨年度、令和5年度の南知多中学校で、年間30日以上欠席の生徒は30名であります。

意見：新南知多中学校の建設について、篠島の統合について前向きに話が進んでいくまでには、出来るだけ危険性のない高台に移すような方向で考えてください。

回答：令和10年度に旧豊浜中学校跡地に新校舎を造るという話だったのですが、今後また新しい中学校を造っていく話になった時には、そういったところも考慮しながら決めていくことになると思います。

質問：南知多中の部活のことなのですが、部活がすごく一新されるみたいな話を聞いたのですが、学校での部活動がコーチを雇って、クラブ活動みたいになっていくような話を聞いたのですが、今決まっていることでいいので、どんな状況か教えてください。

回答：部活動につきましては、皆様もご存じかもしれませんが、スポーツ庁・文化庁のほうで、「学校の休日の部活動を地域へ移行していく。」という事業を進めております。それを受けまして、町としましても学校から部活動をいずれ切り離して、地域で運営していくことが出来るように推進していきたいと考えております。ただ、やはり受け皿ですとか、指導者確保の問題がありますので、当面の間につきましては、現在の部活動、これは南知多中もいずれ篠島中もということになるのですが、外部の指導者を招聘して派遣するという形をとれるように進めていきたいと思っています。そこから先につきましては、また、計画が決まり次第、お知らせしていくことになるかと思います。

質問：南知多町以外の半田市とかの状況をお話いただくと、分かりやすいかなと思うのですが。

回答：知多地区の他市町の動向ですが、最も早い動きをしているのが、東浦町で、土日は既に教員は指導しておりません。東浦町でチームを作って、指導者を派遣して子ども達を募集して実施をしております。月500円でしたか1000円でしたかの実費をお支払いいただいて、そのスポーツクラブに参加し、活動していると聞いています。続いて半田市につきましては、令和6年度の夏、半田市スポーツ大会が9月に行われるのですが、それを終えたら、休日については部活動としては実施しない。地域のスポーツクラブに子どもたちが入って、月謝等をお支払いして活動していくと聞いております。その他の市町につきましては、はっきりと態度を示したところはないのですが、おおよそ、令和7年度の夏を目途にしている自治体が多いと聞いています。

質問：統合するにあたってのお金の問題について、「物価高で、予算を越えてしまうので造れない。」という話ですよね。先延ばしにして、また高くなって出来ないということはないのか。

回答：事業費が増えたということと、旧豊浜中学校跡地の法面補強が必要になったということで、山の上なものですからどうしても法面の補強をしなければならない。そういったところにもお金がかかります。工事についても期間がかかる。そういったところで、令和10年度に旧豊浜中学校に造るのは、断念しました。そのなかで、法面の補強工事にお金があるものですから、「それなりのお金を使うのであれば、他にいいところがあるのではないか。」ということで、今後、そういったところを含めて検討していく形にはなってくると思います。当然、「物価がこれだけ上昇している中、待てば待つほどお金が必要じゃないか。」と言われるのは、ごもっともな質問だと思います。ただし、それは正直言って分かりません。では今後、お金をどうしていくのか、「お金がない、お金がない。」と言いながら、待っていたら余計お金がかかるだろうと、そういったところについては、財政厳しい中でも、積み立てをしていくなり、財政計画を立てて、学校を造っていく形にはしていきたいと思っています。

意見：個人の意見としては、統合には賛成はしていません。今のところ篠島の中学校は統合していないけど、いずれする話になっているのかは今まで参加していないので分からないが、賛成ではないです。それはまず、子どもが中学校にしても、船に乗って本島の方へ通学するというのに不安もある。まだ中学生は子どもだと思う。それに対しての不安。あと、聞く話によると、統合はしますが、それについての周りの付属の話がまだ完成していない状態で統合する予定の話が多かったと思う。説明を聞いた中では、全然、子どもに対して優しくない。そもそも、26億だったものが30何億になって、予算が足りないかもしれない。けど子どもが篠島と日間賀で通いになると100人超える人間が乗るのに、金銭的な問題でチャーター船が出せない。造るお金がなくて、町として首が閉まるのに、通うためにチャーター船もでない。普通の一般の人たちとバスも一緒。部活の話にもなっちゃうけど、今中学校は、何時に終わるのか。中学生の子どもがいなくて分からないが、(大体4時くらい) そこから部活やって、終便が7時だよ。島から通う子で、どこまで陸から通えている子たちと競り合えるのか。本気でやりたいとなった時にね。

質問：部活動について、平日は学校があるのでスクールバスで行けるかもしれないが、土日のクラブ活動になった場合、バスは出ないですよね。

回答：今は、部分的にはスクールバスは出ていますが、今後地域部活動になっていった場合、スクールバスを出すのは難しくなると思います。

質問：震災があった時の避難の話で、「バス会社などにどういうところに避難させる。」というのが配ってあると聞いたけど、それを逃がしてくれるのは、当たり前のことなのでいいけど、もし、篠島が統合になった後に震災が起きたとして、「どこの場所へ逃げたか。」というのは学校から保護者に連絡が来るのか。地続きだったら、多分、迎えに行ける人もいるかもしれない。ここみたいに、船に乗らないと迎えにも行けないような場所。震災が起きれば必ず津波が来ますよね。海が渡れない場合、丘から通っている子どもたちより自分の子どもに合える確率が減りますよね。そういうところは、考慮はされているのか。

回答：バスの運転手が、子どもたちを連れて高台へ避難したとします。当然その運転手は、バス会社の本部に、子どもたちを「どこどこに避難させた。」と報告します。その後、事業所と学校が連絡を取り合って、子ども達が一体どこにいるのか。ただ、連絡がつかない場合、例えば電話が繋がらないとかということになると、かなり厳しい状況になるのですが、電話が繋がったとして、そういうことが把握できた場合に、学校のメールやホームページで周知するのですが、ただ想像できるのは、それさえも使えないような状況も考えられるのですが、ただそういった形で把握して、親御さんに伝わった場合、「引き渡しのことをどうしていくか。」ということになります。やはり、大きな地震が起きた場合に、津波の警報が解除されない場合については、とにかく、その場所で、安全にとどまることになるので、その間は、当然迎えに行くことはかなり難しい、出来ないと思います。ですので、学校としてはとにかく連絡が出来るようにとは考えるのですが、今のところはここまでしか話はいけません。

質問：アンケートのページがあったけど、南知多中学校についてのアンケート、生徒用と保護者用とある。統合についての考えはいかがでしたかというところで、保護者用のアンケートには、「賛成だった」「どちらかといえば賛成だった」が大多数、子どもの方を見ると、「どちらかといえば反対だった」「反対だった」が圧倒的に多い。統合するのは大人の都合だけど、これを、統合する前に子どもにアンケートするべき。統合されるのは子どもだから。大人が通うのではないので。生徒用の「統合してよかったことは何ですか」大体これは、今大人が考えても思いつくような答えですね。友達が増える、当たり前ですね。3校も統合しているのだから。よくなかったこと、「友達との人間関係に悩むこと」「授業についていけないこと」多分篠島とかだったら人数が少ない分もうちょっと親切に、1人1人に対応して教えてくれると思う。1クラスの問題で行けばね。「通学に時間がかかること」もちろんだよね、日間賀の生徒が今そうだけど、船に乗るだけで他の生徒たちより早いよね。通学時間も。帰りの時間も。そのあと家でやれることも知れているし。「学校が地域から離れてしまったこと」俺はこれが一番だと思う。島民が減っているのに、子どもが早くからよそに出ると帰ってこないよね。過疎を進める一方だと思う。こういうがあるので、統合には賛成できてない。こういうのを1つ1つ、反対意見の人が今篠島にどれくらいいて、賛成意見の人がどれくらいいるのは知らないがこれを1つずつクリアしてもらわないと。これ、「統合前のどのようなことが心配でしたか」。というので、「統合前の心配は解消しましたか」保護者用、「解消していない」解消していないという回答が今あることっておかしいよね。あれだけ統合に賛成していた親の心配事が解消していない。これは多分、あってはいけないことだと思う。その心配事が何かの意見が耳に届いているかどうかは分からない。統合して現在どう思いますか「統合してよかった」「どちらかといえば統合してよかった」やっちゃったからでしょ。やる前に聞いていれば分からなかったよね。アンケートの答えも。

回答：アンケートのところでいろいろとご質問がございました。当然、通学で時間がかかればその分、使える時間が減ります。これは物理的な問題なので、どうしようもありません。今、篠島から篠島中学校へ通っておられるので、部活動も南知多中に比べると時間的に長くやれているのかもしれませんが、そういったところはどうしても南知多中になれば時間が減り、色々な制約は出てくると思います。そういったところは物理的な問題なので、これをどうにか一つずつ片づけていくというのは正直言って無理です。それを「では何と比較するのか。」と言ったときに、今言った不便とか不満とか、そういったもの以上に、どれだけ満足できるか、そういったところがあるかということなので、マイナスをプラスに転じていくということは正直言って難しいと思います。マイナスとプラスを足したときに、プラスになれば、当然それは統合が良かったという話になりますし、マイナスが多ければ、当然統合しなかった方が良かったという考えになっていくものだと思います。

質問：マイナスの方が多いと思っているからそういう風に感じている

回答：今、聞いていた中では、そのようにお考えになっていらっしゃるのだと思います。ただ、他の方においては、プラスの方が多いのではないかと考える方もいらっしゃる、かもしれません。そこは、今後また皆さんとお話しをしていく中でどうしていくかを決めていく形になると思っています。

アンケートのことについては、生徒用のアンケート、資料6の次のページ、生徒用のアンケート集計というのがあります。この表やグラフの上から3つ目のところが、統合前に子どもたちがどういう考えだったのかをまとめたものになります。このページの一番下のところが、「統合について、現在どう思っていますか。」というところです。このアンケートを行って、集計をした時に我々もびっくりしました。統合前から子どもたちは統合について、「統合したいと思っていたのではないか。」と思っていたのですが、実際にはアンケートをやってみたら、統合前、「不安だった。」というのが出てきたのです。これ実は、後から分かってびっくりしたのですけれども、保護者意見交換会というのを、各地区でやっておりました。その時に、やはり「子どもたちの意見を聞いてほしい。」という意見もありました。ただ、他の保護者の方から、教育のことについて、「確かに子ども意見を聞くのも大事かもしれないが、大人が責任を持って考えてやることも大事ではないか。」という意見も出てきました。どうしようかというなかで、子どもたちのアンケートについては、そのタイミングではしないということで進めて行きました。ですので、もし、事前にアンケートをしていたら、今の南知多中学校が出来ていなかったかもしれません。ただ結果として、子どもたちが、例えば部活動だとか、いろんな人間関係の広がりの中で、今現在、前向きな考えを持ってくれているというのを見て、喜んでいるところです。ですから、先程アンケートの素案というのがあったと思いますが、こういう子ども向けのアンケートをやって本当にいいのかどうかというのを、まずご意見をいただきたいと思います。「事前に子どもの意見を聞いた方がいい。」というのであれば実施をしますし、そうではなく、「親御さんの立場で考えた方がいいのではないか。」というのであれば、実施はしないということになりますので、いろいろご意見をお聞きしたいと思います。

質問：なぜどちらかなんですか。両方アンケートしようという考えはないのですか。子どもの方も、大人の方も、両方、それもあってもいいと思うのですが。

回答：最終的に、保護者の方には確実にアンケートは実施しなければいけないと思っています。「どこのタイミングで統合したいのか。」ですとか、「統合は最後までいやだ。」ですとか、そういう意見をお聞きするべきだと思っています。先程言いました「子ども向けのアンケートをやるのかどうか。」ということについては、ご意見をお聞きしたい。「やったほうがいい。」といのであればやります。

意見：やったほうがいいです。

意見：アンケートの件ですが、令和10年の統合だとしたら、今うちの子が小3、今それがなくなるかという状況の中で、子どもたちにアンケートを取るのは、何年生の子ですか、保育園、小1、小2ですか。それって意味がないと思います。こういう形でやっていこうということが決まってからアンケートを取ってもいいのではないですか。町があやふやな状態では、すごく親としては心配でしかない。いろんなことを、1個ずつじゃなくても、ある程度、大まかじゃなくて、確実性が欲しい。できれば、ちゃんと決まってからのほうがいいと思う。

(町質問)：今の段階では、まだアンケートは難しいということですか。

意見：難しい。令和10年に新校舎を建設しないのなら、アンケートの意味がない。
アンケートを取ったとして、保育園の子が分かるのかという話。

意見：前回の時に「子どもの意見を聞いてほしい。」と私は伝えました。子どもに対してアンケートを取るのは賛成なのですが、聞き方もあると思います。このアンケートだと、もうほぼ統合決定のような聞き方に思われる。賛成か反対かではなくて、統合した場合、友達が増えるのはうれしいとか、クラス替えするのが楽しみとか、どういう状況で南知多中学校に通わなければいけないかを子どもたちが理解しているか分からないようなアンケートだと思うので、さっき他の方がおっしゃっていたように、保育園の子とか、低学年の子に聞いても分からないことが多いと思うのですが、高学年なら、自分たちが通うことなので、大体は分かると思うので、聞いてほしいと思いますが、アンケートの仕方も大事なのかと思います。

回答：ありがとうございました。年齢的にいくつくらいからやるのかについては、考えていきたいと思いますが、先程もご意見があったように、「アンケートは時期尚早じゃないか。」というご意見もいただきましたので、それも合わせて検討し、次回、いつになるか分かりませんが、意見交換会は継続してやっていきますので、またその時に案を持ってきたいと思います。